

# **認知症あんしん生活実践塾2015**

## **～家族で治そう認知症～**

### **実施報告書**



主催 認知症ケア研究会 in 東京 実行委員会

## 1. 研修会実施要領

### (1) 研修会の目的

現在、わが国は国民の4人に1人が65歳以上という超高齢社会を迎えており、この高齢化の進展とともに、認知症高齢者が大幅に増加してきており、近年、重大な問題となっております。

そのような状況の中、国際医療福祉大学大学院 竹内孝仁教授の提唱する「認知症を治すケア」を広く一般市民の方々に周知していただき、在宅で認知症の方を介護するご家族の支援や認知症となった方々がいつまでも住み慣れた在宅で生活ができるよう、「認知症あんしん生活実践塾 2015」を開催いたしました。

### (2) 実施日時

平成27年8月29日（土）10:00～17:00

### (3) 実施会場

渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール（4階）

### (4) 参加者

440名（家族介護者、一般、高齢者福祉関係者、学生等）

## 2. 研修会内容

### (1) 研修カリキュラム

10:00 開場

10:30 開会挨拶 実行委員 杜の風・上原 齊藤貴也

10:40 講演・1部 認知症を治すケア【その理論と実践】

講師 国際医療福祉大学大学院 竹内孝仁 教授

12:40 昼休憩

13:10 企業説明（展示企業7社）

13:40 講演・2部 パネルディスカッション

「家族で治そう認知症-全国に広がる認知症あんしん生活実践塾-」

座長 順天堂大学 藤尾祐子 先生

認知症あんしん生活実践塾実践報告

●あんしん塾のヒストリー

発表者 国際医療福祉大学大学院 小平めぐみ 先生

14:10 ●主催者から成果報告

①行政の立場から 小林市地域包括支援センター 前田隆一 様  
14:30 ②社会福祉法人の立場から 杜の風・上原 齋藤貴也  
14:50 ③医療法人の立場から 総合リハビリ美保野病院 長谷川紀美 様  
15:10 ④家族の立場から 伊東まさ 様  
15:40 休憩  
16:00 会場を交えてディスカッション  
コーディネーター 国際医療福祉大学大学院 竹内孝仁 教授  
16:45 閉会挨拶 実行委員 杜の風・上原 竹谷哲  
16:50 研修会終了  
※終了後も展示ブースへの来客がある。

## (2) 研修内容

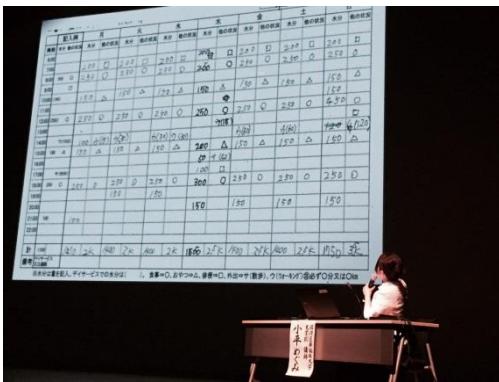
- ① 講演・1部 認知症を治すケア【その理論と実践】  
竹内孝仁教授より、認知症が発症するメカニズム、また「水分、食事、運動、排泄」の4つの基本ケアを中心に認知症は治るとご講演いただく。
- ② 講演・2部 パネルディスカッション  
小平めぐみ先生より、認知症あんしん生活実践塾が開始された経緯と塾実践後の認知症症状の改善状況の報告がある。  
また、行政（地域包括支援センター）、病院、特養の立場から、あんしん塾を実施することにより地域の認知症介護者や介護事業所への支援についての組みの説明がある。そして、実際の塾生であるご家族から認知症の夫の改善経過が報告された。（別紙パワーポイント資料参照）
- ③ 会場を交えてディスカッション  
会場の参加者からのご質問が途絶えることがなく非常に活発な意見交換が行えた。ご質問内容としては、具体的な水分の摂り方、また実際に認知症の介護方法について等があった。



講演・1部 認知症を治すケア



企業説明



あんしん塾のヒストリー



小林市地域包括支援センター



医療法人の立場から



パネルディスカッション



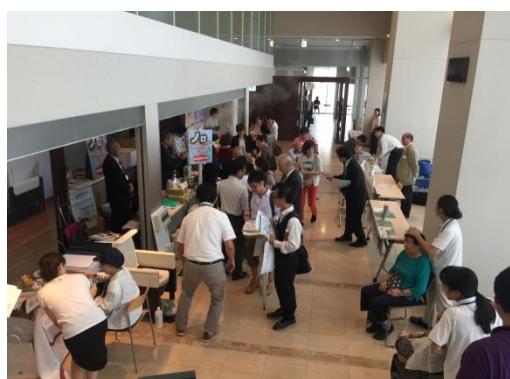
パネルディスカッション



会場のご様子



企業展示のご様子



企業展示のご様子

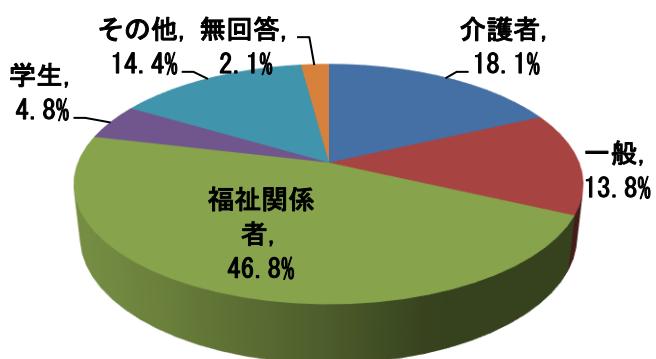
### 3. アンケート結果

#### (1) アンケート回答者

アンケート回答者 184名 回答率 41.8%

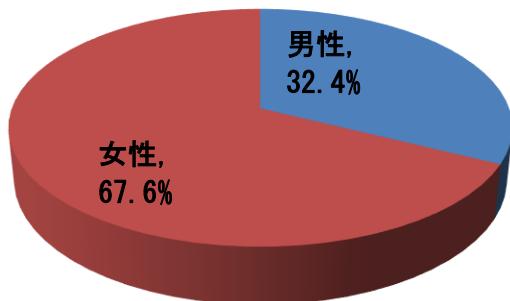
#### (2) アンケート結果

##### ① 参加者属性



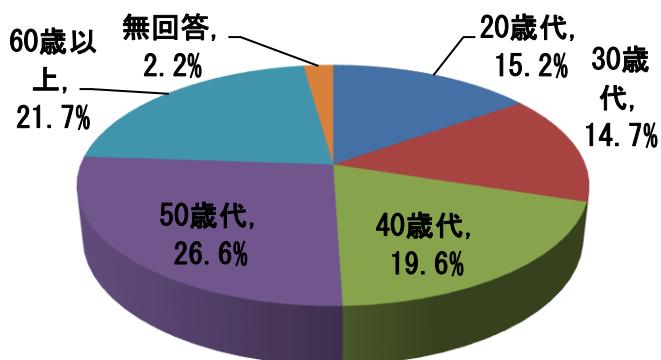
介護者	34名	18.1%
一般	26名	13.8%
福祉関係者	88名	46.8%
学生	9名	4.8%
その他	27名	14.4%
無回答	4名	2.1%

##### ② 参加者性別



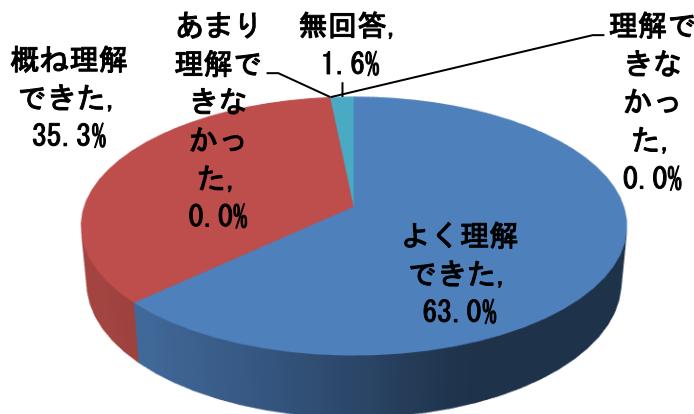
男 性	57名	32.4%
女 性	119名	67.6%

##### ③ 参加者年齢



20歳代	28名	15.2%
30歳代	27名	14.7%
40歳代	36名	19.6%
50歳代	49名	26.6%
60歳以上	40名	21.7%
無回答	4名	2.2%

④ 本日の研修内容についてご理解できましたか？

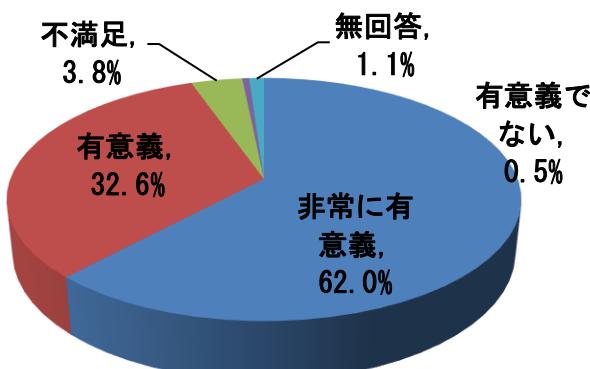


よく理解できた	116名	63.0%
おおむね理解できた	65名	35.3%
あまり理解できなかつた	0名	0.0%
理解できなかつた	0名	0.0%
無回答	3名	1.6%

**【ご意見】**

- ✧ 事例を踏まえ、とても分かり易くご講義頂き、今後のパワーに繋がりました。
- ✧ 目から鱗なお話ばかりで、本当に参加して良かったです。
- ✧ 今迄の認知症の知識を変える講演でした。
- ✧ 実際に起こった事を例に挙げて頂いたので、理解しやすかったです。
- ✧ 認知症は“治る”という言葉の意味がやっと理解できた。
- ✧ 竹内先生の理論を、もう少し詳しく聴講したかった。
- ✧ 年齢と共に物忘れが多くなっていて不安だったが、認知症の改善。治るとの事安心。
- ✧ “実践して認知が治った”体験談は説得力ありますね。最後の方の夫の認知症のお話は自然体で判りやすく、なぜか楽しく聴けました。大変な時、乗り越えられたのでしょうか。元気頂きました。

⑤ 本日の研修内容は、今後、ご家族の介護、仕事、認知症予防において有意義でしたか？

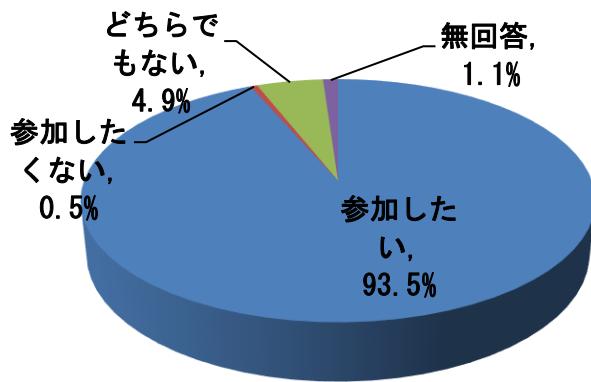


非常に有意義だった	114名	62.0%
有意義だった	60名	32.6%
不満足だった	7名	3.8%
有意義でなかった	1名	0.5%
無回答	2名	1.1%

### 【ご意見】

- ✧ BPSD の症状に落ち込む前に一番大事な基本ケア。ご家族でも明確に実践出来る事として効果がスグに実感できる。素晴らしい事だと思います。
- ✧ 認知症サポーター養成講座や、介護者サロン・オレンジカフェ等でも活用していきたい。
- ✧ 竹内先生の講義内容全てが学びとなりました。
- ✧ 難しい事ではないし、早速周囲の方にもお話したいです。
- ✧ あんしん塾の塾生ですが、行き詰り掛かってましたが、又、意識を切換え頑張ってみます。
- ✧ 帰宅したら、早速、皿洗いを一緒にしたいと思います。
- ✧ 色々な高齢者と関わり、なんでもかんでも認知症にしている現在の社会に刺激となり、また、薬に頼りすぎる医療にも注意したいと思いました。

### ⑥ また、このような研修会にご参加したいですか？



参加したい	172名	93.5%
参加したくない	1名	0.5%
どちらでもない	9名	4.9%
無回答	2名	1.1%

### 【ご意見】

- ✧ 内容が変更されるなら参加したいと思います。
- ✧ 地方でこの塾を開催出来ないか、考えたいと思います。
- ✧ 機会あれば地域に広げていきたいので。
- ✧ 素晴らしい数々の報告を聴き、ぜひ参加したいです。
- ✧ また、行き詰った時に聞きたいと思いました。
- ✧ 何回も聞く事で自分なりのきちんとした考え方になり、他の方に伝えられるから。
- ✧ 埼玉県内でも開催して欲しいです。

(7) 本研修会に関して、ご感想やお気づきの点がございましたらお聞かせ下さい。

【ご意見】

- ✧ 包括で認知症の相談窓口をさせて頂いております。市民や専門職に向けて実践して頂ける基本ケア。皆さんへ声掛けをさせて頂きます。
- ✧ 沢山の人に今日の話を聞かせたいと思いました。
- ✧ 認知症については、自分も治せないとと思っていたので、本日、治せると教えられ今後の仕事に役立てていこうと思います。
- ✧ 先生のお話が上手なものもあり大変楽しい時間でした。本当に今、興奮しております。
- ✧ 素晴らしい取り組みで、ご関係者の皆様に感謝いたします。有難うございました。山口県から来た甲斐がありました。
- ✧ 最後のご家族の話がとても印象的でした。ご家族の熱意が素晴らしい、福祉関係職員も頑張っていかなくては！！と思いました。
- ✧ あんしん塾の具体的な内容、また、今迄の取組の内容を見て、大変な改善が全国で起っている事に驚きました。今後、家や施設、地域ですすめていきたい。
- ✧ 伊東まさ氏の発表が一番家族としての意見が聞け、より具体的な内容で素晴らしいと思った。(コメントーターの様だった)他の家族(特に初めて来た方)にとって、為になったのでは。取り組まれている家族の意見を多く聴きたい。
- ✧ 上手くいかなかった事例。失敗した。本人や家族を怒らせてしまった等の話も知りたいです。インターネット受講出来ると良い。有難うございました。
- ✧ あんしん塾が各地で実施されると認知症の方の家族が救われると思います。有難うございました。

#### 4. まとめ

研修会の案内については、ヘルシーフード様による配達時のチラシ配布、また各研修会等での配布、介護関係のHP掲載、メールマガジン、施設、在宅サービス事業所へのFAX送付などにより、研修直前のお申込み者としては、543名(500名定員)であった。実際に研修参加者は、雨天にもかかわらず440名であった。

研修当日の運営や進行については、実行委員にて担当者を明確にし、綿密な打合せを行った結果、初めて使用した会場ではあったが、予想していた開場、退場時の混雑やトラブル、事故なども避けることができ、順調に行うことができた。但し、会場内が飲食禁止であった為、昼食の摂り方についてのご意見を数件頂いた。

アンケート回収については41.8%と半数以下の回収率となったが、回答結果に対する考察は次の通りである。まず、研修会参加者は様々な年齢、一般の方々、専門職等、認知症の研修に参加する目的も違い、多様な方々であった。その為、研修内容に対する理解度を懸念していたが、「竹内教授の話が分かりやすかった」「実際

に介護している家族の話が聞けて良かった」等、98.3%の参加者が理解できたとの回答であった。

また、上記同様に様々な目的で研修参加している方々に対して、それぞれの介護や仕事に役立つことが出来たかという問い合わせに対し、94.6%が有意義であったとの回答であった。認知症の介護に苦慮している家族に対して、認知症ケアの情報提供を行い、支援したいという本会の目的を実現できたのではないかと考える。

そして、「また、このような研修会に参加したいか?」という問い合わせについては、93.5%の方々が参加したいと回答し、ご意見としては、参加者の地域でもあんしん塾を開催したいなどのご意見が多く聞かれ、あんしん塾の更なる拡大のきっかけとなつたのではないかと考える。

認知症になつても安心して地域で暮らし続けられる、また認知症にならない社会作りに貢献できるよう、今回のアンケート結果等をもとに、研修会内容についても更に発展させ、次年度も開催する決意である。

本会の開催に伴い、ご協力いただきました皆さんに心より感謝いたします。

認知症ケア研究会 in 東京 実行委員会